

ODA

沖縄脊髄損傷者連合会

しゃりん

98

発行：沖縄県身体障害者福祉協会
編集：沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211
〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1 西棟2階 ボランティア小規模団体室
E-Mail sekiren@proof.ocn.ne.jp
HomePage <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

会 員 親 睦 新 年 交 流 会 開 催

去る1月28日(土)沖脊連会員親睦交流会を実施致しました。今回の交流会は、浦添市屋富祖にある「カラオケワールドももたろう」で行い、会員やその家族、関係者の皆さん総勢38名が参加し、久しぶりに顔を合わせる仲間たちとゆんたくあり、カラオケあり、ビンゴゲームありで和気あいあいと楽しいひと時を過ごしました。

この交流会は、予算の一部に平成23年度歳末助け合い運動義援金の配分を受けて実施しました。また、ビンゴゲームの景品は、ニッシン自動車工業沖縄さんから数々の景品を提供していただきました。

この場を借りて歳末助け合い運動にご協力をいただいた県民の皆様とニッシン自動車工業沖縄に心より御礼申し上げます。



脊髄損傷者相談会事業総括

この事業は、沖縄県における脊髄損傷者リハビリテーションの現状は、県立病院等の急性期病院が受け皿となり、リハビリテーションを受けていますが、重度脊損患者の

専門的カリキュラム等のプログラムが乏しく、適正な支援体系にはほど遠い状況にあり、脊髄損傷者の方々に対する生活相談、リハビリテーション相談を各地域で開催し脊髄損傷者及び重度障がい者のリハビリテーション、生活支援環境を応援すること

を目的に実施しました。

その内容として、脊髄損傷者医療・生活相談会の事前広報を図り、個別相談を行うことと併せて、同じ悩みを持つ者同志の交流を交えたグループワーク相談及びリハビリ等専門相談を県内離島を含む5か所（宮古圏域、南部圏域、中部圏域、北部圏域、八重山圏域）で実施したことで、各地区の脊髄損傷者及び重度障害者のリハビリテーション、生活環境を充実させる一助を担えたものと期待しています。

また、各地区の相談会では、リハビリテーション科Drや作業療法士、理学療法士、相談支援専門員、医療ソーシャルワーカー、保健士等の参加により、専門機関、医療機関等との連携が図られ今後の相談支援体制が充実することを期待しています。

最後の相談会は、2月19日（日）八重山地区相談会を石垣市健康福祉センターで実施し、当会からピアサポーターとして仲根、砂川、大城が参加し、石垣市社会福祉協議会の全面的な協力と、ピアサポートアドバイザーとして医療スタッフに理学療法士の下地浩之さん、作業療法士の稲福仁裕さん、指定相談支援事業所むゆる館、サポートセンターどりいむの相談支援専門員、八重山地区身体障害者相談員に協力していただき、相談利用当事者3名、参加当事者家族2名、総勢15名が参加しました。

今回の脊髄損傷者相談会事業の全体的な総括として、相談利用者、その家族、当会ピアサポーター、集尿器アドバイザー、車椅子アドバイザー、その他Drを含めた医療専門職、総勢90名が参加し、今後も相互で連携し相談支援体制を充実させていくことを模索します。

尚、この事業は、平成23年度沖縄県社会福祉協議会社会福祉振興基金を活用した事

業で、事業の後援に社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会、協力団体として各地区社会福祉協議会、身体障害者福祉協会、指定相談支援事業所、株式会社琉球光和の協力のもと実施しました。

障がい者理解推進プログラム事業総括

この事業は、学校及び地域へ、障がい者当事者及びグループを派遣し、障がい者の生活状況や交通事故経験等の講話や車椅子体験、障がい者スポーツ体験等の体験活動を通して、障がい者理解の促進を図ることを目的として、昨年7月から今年の2月まで実施しました。

活動の流れとして、全体的に副会長の神里がコーディネートし各クラブ、SEASIRS、沖縄ハリケーンズ、沖縄フェニックスのメンバー並びに講話の講師を派遣。また、ホームページや機関紙しやりんで活動の広報を行ない県民に対し障がい者理解の推進を促しました。

車いす競技スポーツ体験プログラム及びメンバーによる活動や生活講話の実施内容として、チームメニュー派遣回数18回、個人メニュー（講話）派遣回数4回、述べ派遣人数175名を派遣。

派遣場所並びに参加対象としては、県立前原高等学校（1年生）／沖縄統合医療学院（夜間部1年生）／北中城村社会福祉協議会／（小学生対象）／金武町社会福祉協議会、金武町身体障害者福祉協会（小学生）／北中城村社会福祉協議会（中高生リーダー研修会）／首里中学校／島添の丘の子供達、嘉数中学校（1年生）、沖縄国際大学の生徒対象、JICA沖縄（研修生）その他で、このような体験をすることにより、障がい者の抱える困難性等の生活

理解又は、喜びや生きがいをもって力強く生活するエンパワメント力といった障がい者理解を推進することができ、福祉教育、社会福祉に大きく貢献したものと考えています。

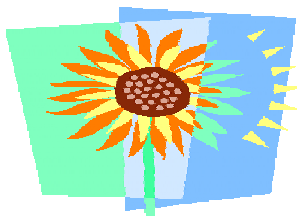
NPO活動支援セミナー2011に参加して

2月15日(水) 県社協主催のNPO活動支援セミナー2011「NPO法改正と新寄付税制学習会in沖縄」に参加してきました。うるま市身障協がNPO法人化を目指していることもあり、また沖脊連もNPO法人化する話も出ているし、是非とも参加したいセミナーであったので沖脊連から参加させていただきました。

当日は県福祉センター東棟の403研修室がギュウギュウ詰めになるくらい大勢の参加がありこのセミナーへの関心の高さを知ることが出来ました。

講師は、シーズ・市民活動を支える制度を作る会の関口宏聡氏と沖縄県環境生活部県民生活課の池田佳世氏のお二人でした。最初に関口講師がPowerPointを使いNPO法の改正ポイントや、それによってNPO活動がどのように変わるのか、予想も含めて分かりやすく解説してくれました。関口講師の話聞いていたら私でもNPO団体を作れるのでは?と錯覚するくらい、かなり規制が緩和されているようです。セミナーが終わり家路につく際は、沖脊連がNPO法人化しても対応できるように頑張ろう、とかなり気分は高揚していました。

沖脊連事務局：枝川



ロボットスーツ・HAL体験

昨年(2010年)の11月26日(土) 南部徳洲会病院に於いて、脊髄損傷者相談会が開催されました。相談員として参加を頼まれ、同病院へと向かいました。あいにく相談者の来院は無く、リハビリスタッフとケースワーカーとの懇談会へと内容を変更して行われました。病院には、期間限定でのレンタルロボットスーツ・HALが常置されており、不全麻痺の自分が試験的に装着を願われ、体験する事となりました。装着にかなりの時間を費やし、専任スタッフの指示に従いながら動作開始。数十年間リハビリから遠のいているため、思うように力の入れ方や筋力・能力の低下を実感ししつも、座位⇒立位⇒歩行動作等を繰り返し、1時間程の体験を行いました。実感としては、初病・受傷後間もない患者へのリハビリにはかなりの効果が期待できる機器と感じました。また、歩行を希望・目的とした患者に対しては、体感バランスの安定した人や脳疾患・脊損(胸椎・腰椎不全レベル)等の方々に期待される機器だと思います。

※動作時に脳からの信号を神経を通じて筋肉へ伝える方法で、微弱な生体電位信号をセンサーで読み取りコンピューターで解析し、装着者と一体的に作動し支援する仕組みです。





人権・福祉講演会

平成24年2月16日(木) 午前10時～
 場所：渡慶次小学校
 内容：講話 黒島祥吾(沖縄フェニックス)

今日は、2校時に車いすの黒島祥伍さんをお招きして、講演をしていただきました。

祥伍さんは、高校生の時、プールで頸椎を損傷し、手足に麻痺が残り、車いすの生活をするようになったとのこと。手術後、福岡のリハビリ病院でリハビリを頑張り、現在、沖縄フェニックス(車いすツインバスケットボールチーム)に入って、練習に励んでいるとのこと。

夢をあきらめることなく、しっかりと頑張ることの大事さ。ご自身は4年後のパラリンピックに出場するため、厳しい練習にも耐えていく決意を話しました。

(渡慶次小学校HPより抜粋)



児童会役員のはまれさんからの花束贈呈



みんなで写真を撮りました



第23回全国車いす駅伝競争大会

去る2月19日、雪がちらつく中国立京都国際会館前から京都市西京極総合運動公園陸上競技場までの21.3kmを5区間に分け、第23回全国車いす駅伝競争大会が行われました。前日から高円宮憲仁親王妃久子殿下のご臨席を仰ぎ、開会式、懇親会を経て19日11時30分スターとしました。

沖縄勢のメンバー構成は、第1区：上与那原寛和、第2区：大城盛昭、第3区：山之端清宗、第4区：城間圭亮、第5区：片倉政人で競技に望み、結果14位と過去最高の順位となりましたが、タイムでは目標の1時間は切れず、1時間1分37秒に終わりました。残念！来年まで残念の気持ちを持

ち続け一人一人30秒ずつでも短縮できればさらなる期待が！と反省も兼ね練習を誓って帰路につきました。

追伸；縄では雪は積もらないので、選手の中には初めて雪を見る方がいて感動した様子でした。

報告：片倉



イルカのいっさーなんで☆バラエティー（イルカ・ラジオ）

沖縄県自立生活センター・イルカが配信するラジオ番組、イルカのいっさーなんで☆バラエティー（略してイルカ・ラジオ）が、昨年の4月13日（水）始まりました。放送日は毎月第2、第4水曜日の14:00～15:00。局はFM21（76.8Mhz）で、浦添市、宜野湾市、西原町、那覇市がエリアです。これまで、自立生活センター・イルカではラジオ放送を行い、地域にむけて障害があってもなくても誰もが夢をもち、安心して生きられるまちづくり・まちおこしのために様々なメッセージを配信しています。日常のできごとや「これってどうなの？」、「みんなどう思う？」など、経験を通した疑問や矛盾、レポートをとおした施設等社会資源のバリアフリーチェック、地域のイベント、障害者団体や市民団体の活動などをレポートし、市民にも問いかけ、3月28日（水）の放送で24回目を迎えました。

※主な番組構成の一部として、

○オープニングトーク

○本日の出演者紹介

○本日のプログラム紹介

♪ミュージック

○これってどうなの？パート1

・居酒屋で店員から異常なほど心配をされる・・・。

♪ミュージック

○これってどうなの？パート2

・ある市町村主催のお祭りで行われる踊りのコンテスト出場で、主催者の善意・・・。

♪ミュージック

○ゲストインタビュー

イルカ・ラジオブログ<http://irukaradio.ti-da.net/>では、番組にまつわることを配信していますので、番組ともども宜しくお願いします。

また、当番組にコマーシャル広告を出していただけるスポンサーを募集しています。大変厳しい時節とは存じますが、趣旨ご理解の上、スポンサーとしてご登録いた

だき、共に共生社会の実現にむけてご協力の程宜しくお願い申し上げます。

※リクエスト&メッセージの受付はこちらへ

曲リクエスト、イサナにチャレンジしてほしいこと&面白バリアフリー&恋の悩みなどメッセージはNPO法人沖縄県自立生活センター・イルカ(担当:いさな・はやさか)

TEL: 098-890-4890

／FAX: 098-897-1877

メール: iruka.radio@gmail.com

●当日はこちら→ FM21

TEL: 098-876-0021

FAX: 098-877-1118

メール: radio@fm21.net



発行人
沖縄県南風原町字神里六三一
沖縄県身体障害者福祉協会

編集人

沖縄県那覇市首里石嶺町四一三七三一
沖縄県総合福祉センター西棟二F
ボランティア小規模団体室・沖縄脊髄損傷者連合会しやりん編集部
砂川昭人

—平成24年度沖脊連役員募集!—

沖脊連の会則では、第12条(役員の種別と定数)で、本会の役員は次のとおりとする。

- 1) 会長1名、副会長2名、事務局長1名、会計1名、会計監査1名、理事若干名、相談役若干名
- 2) 地域の実情に応じて市町村支部長を置くことができる。
- 3) その他の役員は実情に応じておくことができる。となっています。役員は基本的に総会において正会員の中から選任しますが、総会までに事務局案として役員の候補者を会員から募集します。

役員の任務は、

- 1) 会長は本会を代表し、会務を総括することとする。
- 2) 副会長は会長を補佐し、会長が事故あるときは会長を代行する。
- 3) 役員は会務を分担し業務を行う。

役員の任期は、1年とする。但し、再任は妨げない。

- 2) 役員を辞任又は任期満了の後においても後任者が就任するまではその職務を行わなければならない。

となっており、会長や副会長、会計、会計監査、または理事など団体活動に興味がある方、我こそはという方、他の会員の方の推薦でも結構ですので是非ご連絡ください。

ちはる歯科クリニック

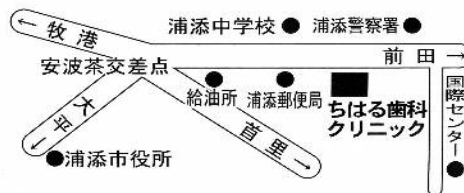
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者: 在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保健施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

購読料は会費に含む
【頒価二十円】